



# 加茂川愛護会

豊田市の水辺愛護会  
 発行：豊田市矢作川研究所  
 471-0025 豊田市西町2-19  
 豊田市職員会館1階  
 2017年12月  
 TEL0565-34-6860 担当：吉橋

市内の高橋地区、コミュニティセンターや公園、大型ショッピングセンターがある住宅街を加茂川は流れています。この水辺を守っているのが結成から11年目の加茂川愛護会です。初代会長の熱い思いを引き継いだ、井上富松会長にお話を伺いました。

愛護会が活動を始める前、川辺は今とは全く違い、草が生い茂った、荒れた状態だったそうです。しかし今は、愛護会の草刈りやごみ拾いなどの活動によって地域の人々に愛される川辺として維持し続けられています。

活動においては、川の中に土砂が溜まり、ヨシが生い茂ってしまっていること、作業上の危険があることなどが課題です。

春には河津桜の並木が人々の目を楽しませ、温かい時期は、なだらかな斜面をそのまま降りて、子どもたちが魚とりやザリガニ釣りをします。秋の紅葉も美しく、ショッピングセンターへの行きかえりに川辺を歩く人も季節を感じておられるようです。

ホタルやカワセミのつがいもいるこの加茂川をきれいにし、心地よい暮らしをしようと思って活動していると井上会長は教えて下さいました。（聴き取り2017年11月2日）



井上富松会長



活動の様子（2017年4月）

## <加茂川愛護会>

結成…2006年1月  
 会長…井上富松氏  
 会員…28人（2016年度）  
 活動日…月1回程度  
 活動地…加茂川中流  
 「東山橋」～「京ヶ峰橋」  
 上流200mまで



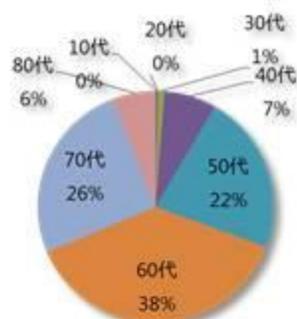
河津桜



## 参考：豊田市の水辺愛護会について

自治区の有志で組織（原則1自治区1団体）。市に指定された範囲内において活動を行う（団体数・延べ人数は2016年度、男女比・年代構成は2015年度）

- ・19団体、648人
- ・1団体12人～117人（平均34人）
- ・活動延べ人数：3,343人/年
- ・男性86%、女性14%



活動頻度：月2回程度～年に4回程度まで様々。土日の午前中が多い。

活動内容：河畔の竹木の間伐、草刈り、ゴミひろい、適切な維持管理についての知識向上、積極的な活動人員の確保、など

旧豊田市域の愛護会の活動地面積（14団体）：200,200㎡（平均14,300㎡）

（参考：上流5団体は面積不明。地図上の概算や会員への聴き取りからは、合計約179,000㎡（平均35,800㎡））



### 活動の成果

- ・「ながめ」がよかった  
（川面が見られる、河畔林が見通せる。対岸へのながめ、対岸からのながめがよかった。）
- ・川まで辿り着けるようになった
- ・人と人との繋がりが強まった
- ・故郷に自信が持てるようになった など

### 活動の課題

- ・会の継続性への不安（高齢化と人手不足）
- ・目標、将来像、方向性を考える場が少ない
- ・マンネリ化で「やる気のもと」がない
- ・河畔林の恵みという意味での「見返り」がない
- ・愛護活動は生物の生息環境から見て適正か
- ・地域住民の関心が低い など

